

平成21年度 高冷地水稻生育速報(第1報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(6月17日調査)

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色		葉 齢
				葉色板	SPAD値	
コシヒカリ	本年	30.4 (97%)	395 (97%)	4.5 (-0.1)	40.3 (+1.5)	7.3 (-0.1)
	前年	28.7	446	4.0	36.7	7.6
	平年	31.5	407	4.6	38.8	7.4
ひとめぼれ	本年	27.8 (97%)	331 (81%)	4.5 (-0.1)	41.7 (+1.5)	7.4 (+0.0)
	前年	25.6	326	4.2	41.0	7.4
	平年	28.7	409	4.6	40.2	7.4
たかやまもち	本年	29.9 (94%)	391 (113%)	4.7 (+0.1)	38.5 (+0.2)	7.5 (+0.1)
	前年	30.8	260	3.8	35.6	7.7
	平年	31.9	345	4.6	38.3	7.4
ひだほまれ	本年	30.7 (90%)	397 (120%)	4.2 (-0.2)	36.5 (-0.8)	7.3 (-0.3)
	前年	30.4	235	4.1	33.9	7.8
	平年	34.0	330	4.4	37.3	7.6

栽培条件：移植5月15日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a
 平年値：過去5年間の平均値
 ()内の数値は対平年値

2. 生育状況と当面の管理

1) 気象概況

移植直後は高温で推移したが、6月に入ってからほぼ平年並みの気温で推移している。5月中旬は、降水量が多かったが、以降は平年より少なく、特に6月に入ってから降水量が少ない。日照時間は、5月中旬で平年より長くなったが、5月下旬～6月初旬は平年より短くなっている。

東海地方は6月9日頃に梅雨入りし、平年より1日、昨年より12日遅い(北陸地方の梅雨入りは、6月10日頃で平年と同じ、昨年より9日早い)。

2) 生育状況

草丈は、「コシヒカリ」、「ひとめぼれ」でほぼ平年並みとなったが、「たかやまもち」で平年対比94%、「ひだほまれ」で平年対比90%と平年よりやや短くなっている。茎数は、「コシヒカリ」ではほぼ平年並みだが、「ひとめぼれ」では、平年対比81%とかなり少なく分けつの遅れが目立つ。「たかやまもち」、「ひだほまれ」は、分けつが旺盛で平年より13～20%茎数が多くなっている。

葉色板による葉色は、いずれの品種もほぼ平年並みとなったが、「ひだほまれ」では平年よりやや淡い。また、SPAD値では「コシヒカリ」、「ひとめぼれ」では平年より値がやや高く、「たかやまもち」で平年並みとなったが、「ひだほまれ」では平年より0.8ポイント値が低くなっている。葉齢は、「コシヒカリ」、「ひとめぼれ」、「たかやまもち」ではほぼ平年並みとなっているが、「ひだほまれ」ではやや遅れが見られる。

気温が高めで推移したために「ガス」の発生が早まったことや移植後の日照不足等により、根の張りが悪く、生育に影響を与えているようである。

3) 病虫害等の発生状況

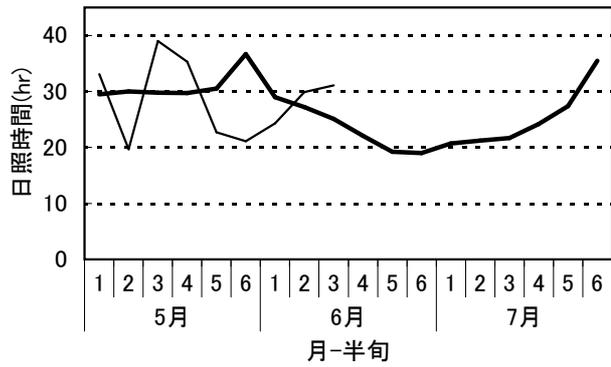
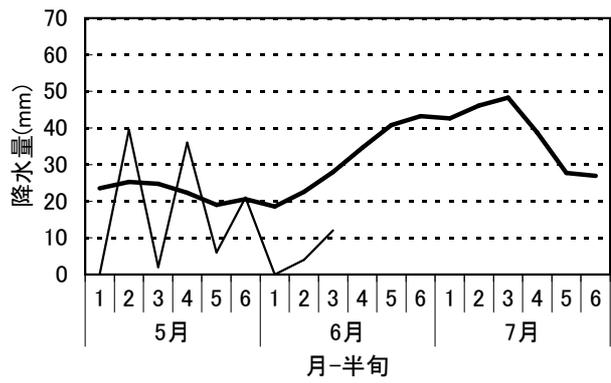
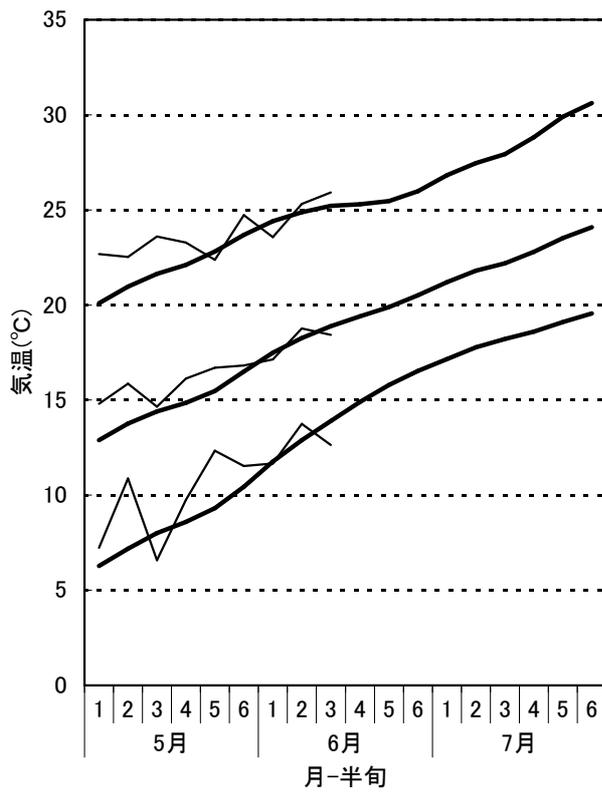
アオミドロ・藻類等による表層はく離が見られ、ノビエをはじめとして取りこぼしの雑草が目立ち始めている。イネミズゾウムシの食害痕がわずかに見られるが、特に病虫害の被害は見られない。

4) 今後の管理

下葉の黄化が見られるほ場では、早期中干しを実施し根の健全化をはかると良い。いったん落水してから2～3日干し、田面に細いヒビが入ったら入水する。干し過ぎずに田面を軽く固める程度とする。

雑草が多い場合には、雑草の草種と移植時期に応じて中期・後期除草剤を使用する。ノビエについては、除草剤ごとに効果のある葉齢期が異なるので、生えているノビエの葉齢を確認して除草剤を選ぶこと。

<参考> 半旬別気象図(高山市アメダス, 6月15日現在)



— 平年(1971~2000年) — 本年(2009年)

岐阜県中山間農業研究所

TEL 0577-73-2029

FAX 0577-73-2751

<http://www.cc.rd.pref.gifu.jp/k-agri/>